

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

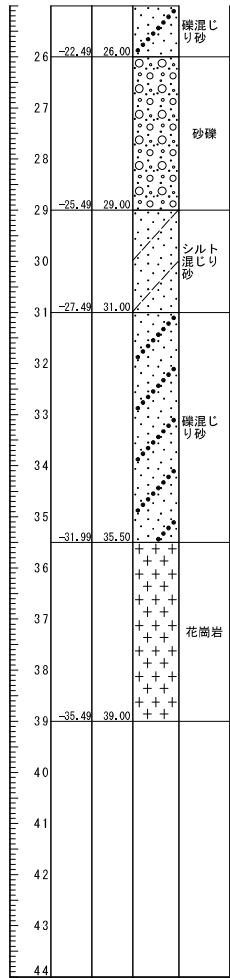
調 査 名 二級河川 堀川水系 内神川 河川改修事業に伴う詳細設計業務（その1）

事 業 ・ 工 事 名

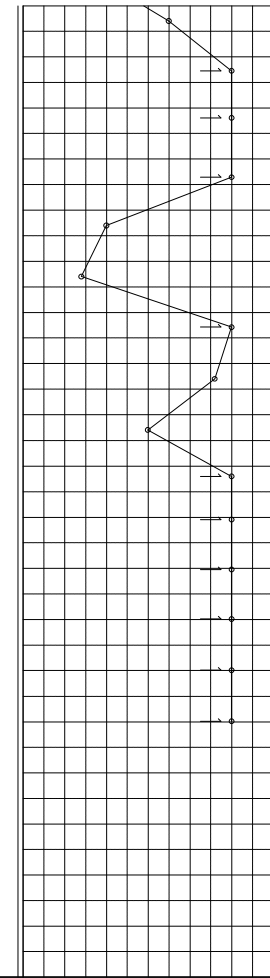
調査目的及び調査対象 河川 橋梁・高架

ボーリング名	R1-Bor. No. 8	調査位置	橋梁④	北 緯	34° 14' 58.5693"
発 注 機 関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和元年 8月28日～ 令和元年 9月 6日	東 経	132° 33' 49.5774"
調 査 業 者 名		主任技師		現 代 理 人	
コ ン 定 者		ア		ボ ー リ ン グ 責 任 者	
孔 口 標 高	TP 3.51m	角 度	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
地 盤 勾 配	水平 0°	地 盤 勾 配	鉛 直 90°	使 用 機 種	試 錐 機 東邦D-1
総 削 孔 長	39.00m	エ ン ジ ン	ヤンマー(株)製TF120M	ポ ン プ	東邦製BG-3

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 日 日	標 準 貫 入 試 験					自 沈 時 の 貫 入 量 (m)	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 番 号	室 内 試 験 方 法	原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 及 び 結 果	削 孔 月 日
										N 値	深 度 (m)	100mm 毎 の 打 撃 回 数	50 回 の 貫 入 量	打 撃 回 数 の 貫 入 量							
1			礫混じり砂	茶褐	rd1			造成土。砂は中～細砂主体。 φ2～10mmの垂角礫を混入。 最大礫径50mm。	9/4 2.20	3	1.15	1	1	3	1.15	P-0-1	比重大粒度				
2	0.91	2.60							8/31 3.40	2	2.15	1	1	2	2.15	P-0-2	比重大粒度				
3									8/30 4.00	7	3.15	2	2	3	3.15	P-0-3	比重大粒度				
4									9/3 4.60	12	4.15	5	3	4	4.15	P-0-4	比重大粒度	4.00	現場透水 GL:TF-05m/sec		
5									9/6 5.10	6	5.15	2	2	2	5.15	P-0-5	比重大粒度	4.45			
6									9/6 6.20	11	6.15	3	4	4	6.15	P-0-6	比重大粒度	6.70			
7											6.45				6.45						
8			シルト混じり砂	暗褐	rd2			砂は中～細砂主体。 部分的に粗砂優勢面所あり。 全体にシルト分を含有する。 GL=5.00mまではφ2mm程度の垂角礫少量含有。 GL=8.00m以下はφ2mm程度の垂角礫少量含有。 GL=11.8m付近木片混入。		3	8.15	1	1	3	8.15	P-0-7	比重大粒度	7.30	LL:1 331K/m2		
9										4	9.15	1	1	2	9.15	P-0-8	物理一式				
10										4	10.45				10.45	P-0-9	物理一式				
11										12	11.15	4	3	5	11.15	P-0-10	物理一式				
12										7	12.15	2	2	3	12.15	P-0-11	比重大粒度				
13										6	13.45	2	1	3	13.45	P-0-12	比重大粒度				
14	-10.48	14.00	礫混じり砂	暗褐	rd3			砂は中～細砂主体。 φ2～10mmの垂角礫を混入。		10	14.45	3	3	4	14.45	P-0-13	比重大粒度				
15	-11.48	15.00	シルト質砂	淡灰	rd2			細粒分～細砂主体。 φ5mm程度の垂角礫少量含有。		6	15.45	2	2	2	15.45	P-0-14	物理一式				
16	-12.38	15.90								13	16.15	5	4	4	16.15	P-0-15	比重大粒度				
17			礫シルト混じり砂	緑灰	rd3			砂は中～細砂主体。 φ2～10mmの垂角礫を混入。 最大礫径50mm。 部分的に細粒。		21	17.45	4	7	10	17.45	P-0-16	比重大粒度				
18										21	18.15	5	7	9	18.15	P-0-17	比重大粒度				
19	-15.48	19.00	礫混じり砂	茶～灰	rd3			砂は中～細砂主体。 φ5mm程度の垂角礫少量含有。		22	19.15	12	6	4	19.15	P-0-18	比重大粒度				
20	-16.44	19.95	砂質シルト	茶	rd2			細粒分～細砂主体。		8	20.45	3	2	3	20.45	P-0-19	物理一式				
21	-17.14	20.65	礫シルト混じり砂	茶褐				砂は中～細砂主体。 最大φ40mmの垂角礫混入。 φ10～30mmの垂角礫主体。 砂は中砂主体。		50±	21.10	23	15	12	21.10	P-0-20	比重大粒度				
22	-18.48	22.00	砂礫	緑灰							21.38				21.38						
23	-19.48	23.00	シルト混じり砂	茶褐	rd3			砂は中～細砂主体。 GL=22.70m以下 細粒分増加。		14	22.45	5	4	5	22.45	P-0-21	比重大粒度				
24	-19.48	23.00	礫シルト混じり砂	淡青灰	rd3			中～細砂主体。 φ2～30mmの垂角礫混入。 下位ほど細粒分増加。		28	23.45	10	8	10	23.45	P-0-22	比重大粒度				
25	-21.48	25.00								15	24.45	5	5	5	24.45						



茶褐	rd4	中～粗砂主体。 φ2～10mmの垂角礫混入。
黄～緑 灰		φ5～40mmの垂角礫主体。 砂は粗～中砂主体。 GL=28.00～28.15m間 最大L=10cmの玉石含む。
茶	rd3	細～中砂主体。 粒度は比較的均一。 GL=30.00～30.45m間 若干細粒分増加。
茶褐	rd4	細～粗砂主体。 φ2～40mm程度の垂角礫を混入する。 GL=32.6m, 33.6m付近 φ50mm程度の花崗岩の垂角礫を混入。 GL=35.00m以深 礫分増加する。
黄～灰 褐		基礎岩。 主に細礫～岩片状～棒状コアとして採取される。 GL=36.45m以深 硬質化し、棒状コア主体となる。 岩級区分はDH～CL級。



35	25.15	11	10	14	35	
	25.48				300	
500E	26.15	15	20	15	50	250
	26.40				50	250
500E	27.10	32	18		50	190
	27.28				90	190
500E	28.25	26	20	4	50	210
	28.40				10	210
20	29.15	10	5	5	20	
	29.45				300	
14	30.15	2	2	10	14	
	30.45				300	
500E	31.15	7	16	27	50	280
	31.43				80	280
46	32.15	17	13	16	46	
	32.45				300	
30	33.15	8	7	15	30	
	33.45				300	
500E	34.15	44	6		50	120
	34.27				20	120
500E	35.05	50			50	10
	35.06				10	10
500E	36.02	50			50	20
	36.04				20	20
500E	37.00	貫入不能			50	0
					0	0
500E	38.00	貫入不能			50	0
					0	0
500E	39.00	貫入不能			50	0
					0	0

	27.10	P-8-22	⊖	比量水 含量
	27.28			
	29.15	P-8-23	⊖	比量水 含量
	29.45			
	32.15	P-8-24	⊖	比量水 含量
	32.45			

